



前立腺MRI 検査を受けてみましょう

技師

近年の急激な高齢化や食生活の欧米化などが原因で、男性の最も罹患数が多い疾患が「前立腺がん」です。前立腺がんの罹患率は 50 歳を過ぎると急激に上昇し、70 代後半でピークを迎えます。



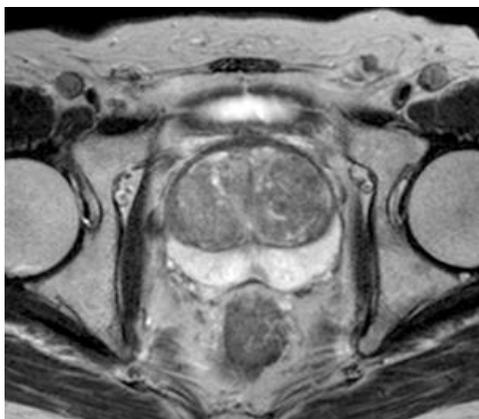
また、前立腺がんは、数年～20 年とゆっくりと進行し進行すると全身の骨に転移しやすいため、早期に発見することが大事です。

無症状でも 50 歳を過ぎたら定期的に PSA 検査(血液検査)を受けることをおすすめします。(下記※印を参照)

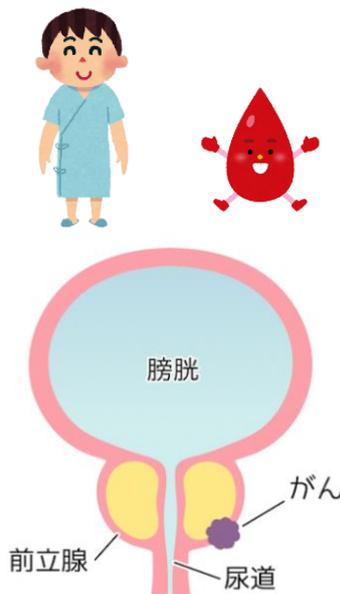
前立腺がんの可能性のある人を見つける検査には、PSA 検査、超音波検査など色々ありますが、その中に MRI 検査もあります。前立 MRI 検査は、前立腺の大きさや前立腺がんなどを画像にして評価することができます。

50 歳以上の男性で、尿が出にくい・尿が途切れる・残尿感がある・頻尿が気になるなど、症状があるかたは、一度受診をすることをお勧めします。

前立腺 MRI



前立腺MRI



※自覚症状がない場合は、保険診療での検査はできません。

市の健診を利用して、前立腺がん健診(PSA 検査)を受けることをおすすめします。PSA 値が高い場合は、二次検査で保険を使って MRI 検査を行うことができます。

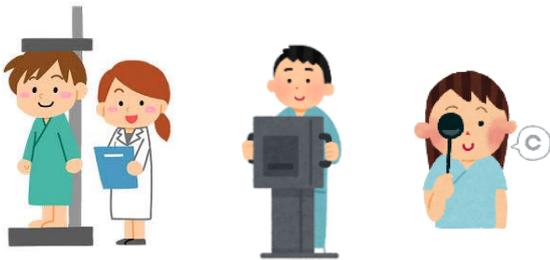
健康診断・ドック料金変更のお知らせ

受付

令和6年4月より、健康診断とドックの料金を変更させていただく事になりました。

健康診断 A:6,600円
健康診断 B:9,900円
健康診断 C:12,500円
※税込み価格です。

シンプル脳ドック:17,050円
脳ドック A:27,280円
脳ドック B:39,930円
脳ドック C:54,780円
脳ドック D:75,680円
人間ドック(胃カメラ):53,350円
※税込み価格です。



上記以外にも色々な種類の健康診断やドックのコースがありますので、ぜひ当院のホームページをご覧ください。完全予約制となっております。ご予約はお電話でも承っております。

ご不明な点がございましたら、スタッフまでお声がけください。

ヘモグロビンA1cって何？

看護師

ヘモグロビンA1cは糖尿病の過去1~2か月のコントロール状態の評価を行う上での重要な指数です。健康診断や検査ではHbA1cと表示されます。食事から採血までの時間の影響を受けやすい血糖値と比較して、そうした影響を受けにくく、糖尿病の早期発見や血糖コントロール状態の評価に有効な検査です。

正常値は:~5.5% 境界型予備軍:5.6~6.4% 糖尿病 :HbA1c:6.5%以上

ヘモグロビン A1c が高い状態でも症状がないからと治療せず放置していると、様々な健康障害を引き起こします。例えば、しびれ・心不全・網膜症・腎不全・歯周病・感染症にかかりやすいなどです。また近年では糖尿病があるとアルツハイマー型認知症になる可能性が1.5倍、血管性認知症になる可能性が2.5倍になるという報告もあるようです。



ヘモグロビンA1cが高い原因

①食事の過剰摂取 ②肥満・運動不足 ③ストレス ④遺伝 ⑤妊娠など



1年に1回の健康診断や検査データを見直し、食事の改善や運動療法等を取り入れ肥満の改善に取り組みましょう。